

関西造園界 50 年の歩み —関西支部設立 50 周年記念特集の編集にあたって

50 Years of Landscape Architecture in Kansai: Preface to the Kansai Branch 50th Anniversary Special Issue

田中 充* 柴田 昌三** 今西 純一***
Mitsuru TANAKA Shozo SHIBATA Junichi IMANISHI

日本造園学会関西支部は 1966 年（昭和 41 年）11 月 20 日に京都大学農学部を会場として開催された設立総会により発足し、2016 年（平成 28 年）に設立 50 周年を迎えた。設立趣旨を読み返すと、当時の関西造園界の意気込みが感じ取れる。まだ職能としての造園が確立されていなかった当時、「われわれは今こそ真剣に造園の将来を考え、造園の主体性を確立する必要に迫られています」、そして「設立の目的は…関西地方に固有の造園の問題をより深く研究することです。風土や植生に密接に関係づけられた造園の特殊性から考えても、自然や文化の景観に共通するところの多い関西地域に在住し、その地域に強い関心をもつ会員が集まり共通の造園問題を討議することは大きな意義と成果が期待できます」と高らかに宣言している。以降、関西支部は独自性を発揮しながら、地域の多様な自然と人間とのかかわりの中で、多彩な活動を続けてきた。

この 50 年を辿ってみると、3 つの博覧会、そして震災が関西造園界の大きな節目であった。支部設立 50 周年を迎えるにあたり、関西支部では過去の博覧会の意義や成果を振り返るシンポジウムを開催してきた。2015 年の支部大会シンポジウムでは 3 つの博覧会の時代背景と造園分野とのかかわりについて、1970 年の「日本万国博覧会（大阪万博）」には「都市におけるグリーンインフラの獲得」、1990 年の「国際花と緑の博覧会（大阪花博）」には「花の生活文化の開花」、2000 年の「国際園芸・造園博（淡路花博）」には「花と緑の風景づくりの地域への展開」というキーワードがそれぞれ提示された。一連のシンポジウムによって、関西を舞台に実施された博覧会を通じて、造園分野の知恵や技術は大いに発展してきたことが再認識されたと言える。そして、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災も、その復興の過程で市民主体の「みどりのまちづくり」活動に関して、全国に先がけた展開を引き出し、先鞭をつけてきた。

以上のように時代をリードしてきた関西造園界の 50 年の歴史を振り返り、その歩みをまとめるために、2015 年に関西支部内に「50 年の歩み部会」を立ち上げ、日本造園学会誌ランドスケープ研究の特集を編集するとともに、それを発展させた記念誌を発行し、新たな半世紀への一歩

を踏み出すことを決定した。計 6 回に及ぶ企画会議を開き、関西支部に所属する近畿、中国及び四国地方における造園界の歴史を年表にまとめ、関西において特に全国を先導してきたと考えられるトピックを選出した。

本特集の構成は、まず総論として、関西造園界の 50 年の流れを年表を使って総括した後、都市緑地、歴史文化遺産・景観、自然環境保全・再生の 3 分野の行政の展開を歴史的に概説している。次いで各論として、節目となった 3 つの博覧会のシンポジウムの概要や、全国で最も長い歴史を持つ日本庭園文化、全国に先駆けてアメリカの造園設計を取り込むべく行われた活発な活動とその後の展開、アジア初の国際博覧会会場の造成と新たな造園、同時期に大阪府千里丘陵等で進んでいたニュータウン開発と都市計画、日本初の都市間高速道路である名神高速道路の造園に貢献した緑化技術の開発、ニューヨークにおける世界初の事例に遅れることわずか 3 年後に出現したアトリウムなど、関西が全国に先駆けて取り組んだ 14 のトピックを取り上げ、造園に関わる知恵や技術の発展について論説した。

以上のような構成をとることで、本特集は、関西造園界の 50 年の歴史を振り返るだけでなく、造園分野の今後の方向性に関しての示唆を与え、造園界の将来の担い手にかつての意気込みを伝えられるものになったと信じている。

なお、本特集は記念誌として再発行する。記念誌には、関西造園界の 50 年の歩みをより詳細に記した年表と、3 つの博覧会に関するシンポジウム報告書全文、2016 年 10 月開催の支部設立 50 周年記念シンポジウムの記録が、デジタルファイルとして付く。ご希望の方は、本年 2 月末までに送付先住所、氏名を書いた返信用封筒を添えて、支部事務局（〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京大・農・環境デザイン学研究室）までお申し込みをいただきたい。

支部編集委員：稲熊高子（ヘッズ（株））、井原縁（奈良県立大学）、今西純一（京都大学）、上田正敏（大阪市）、加我宏之（大阪府立大学）、上甫木昭春（大阪府立大学）、柴田昌三（京都大学）、田中充（（公財）国際花と緑の博覧会記念協会）、田中康（ヘッズ（株））、広脇淳（神戸市）、村上修一（滋賀県立大学）

*関西支部長／（公財）国際花と緑の博覧会記念協会 **関西支部 50 年の歩み部会長、学会編集委員長／京都大学大学院地球環境学堂 ***関西支部事務局、学会誌特集担当編集委員／京都大学大学院地球環境学堂